

東北大学流体科学研究所

流体科学研究所の国際戦略

所長 丸田 薫

- あらためて流体研の自画像
(特徴, 所内組織, 国際化活動...)
- 今後の国際戦略
(アフターコロナに向けて)

理念と使命

時空間における流れの
研究を通じて人類社会
の永続的発展をめざす

VISION2030

2015策定→2020改訂予定

構 成 員

教 員 : 46
常 勤 職 員 : 36
非常勤職員 : 49
学生(B3-D): 195*

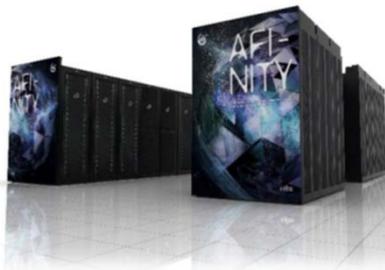
*工学(機械系)・医工学・情報科学・
環境科学 各研究科

外部資金 [百万円]

科 研 費 : 140
受託研究 : 260-340
共同研究 : 120-170
大型予算* 産学連携多数

*直近5年 NEDO 7, JST (CREST
5, SIP 3, ImPACT 1)

未来流体情報 創造センター



次世代融合研究システム
(スーパーコンピュータ)

次世代流動実 験研究センター

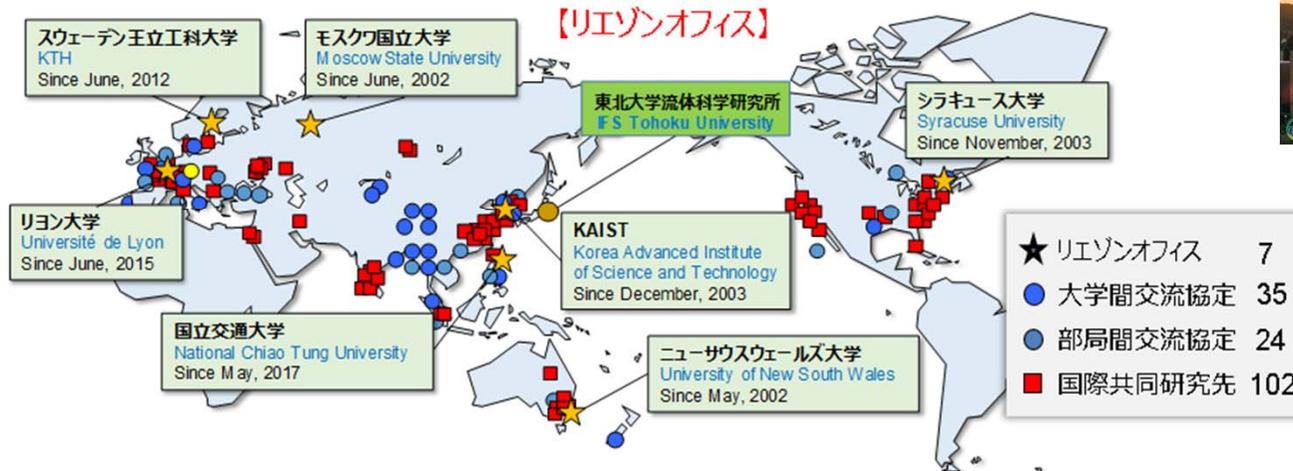


低乱風洞実験施設



衝撃波関連施設

リエゾンオフィス（LO）ほか、国際連携活動



流動ダイナミクスに関する国際会議（ICFD）2004～ 本年は第17回

リヨンセンター

フランス・リヨン大学 (INSA Lyon, École Centrale de Lyon) に教員と学生が滞在し、国際共同研究を推進、材料科学と流体科学の融合研究を実施

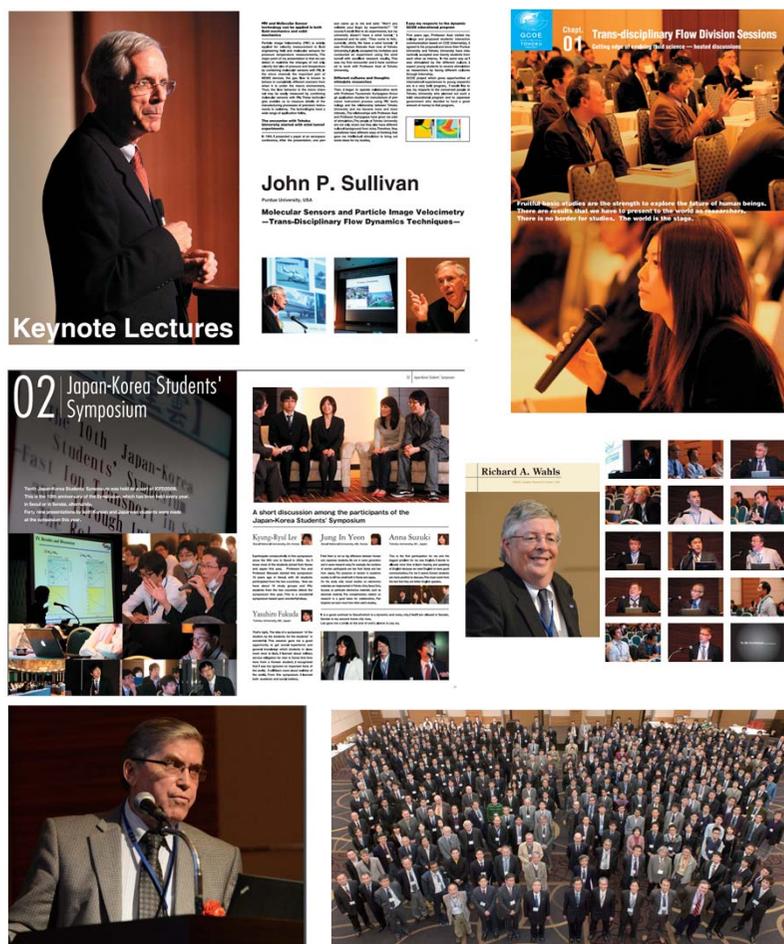
国際研究教育センター GCORE

国際的な連携活動のための企画、学術交流協定締結・更新の支援、国際交流に伴う情報の提供など、国際交流の活性化を支援しています。

米国ワシントン大学との共同教育研究プログラムUW-TU: AOS, 台湾国立交通大学との連携, リヨン大学 ElyTMax, ElyTGlobalプログラム, ロシア(大学・RAS)との連携, JSPS Core-to-Core プログラム等, 多方面の組織的国際展開 (国際宇宙大学...)

流動ダイナミクスに関する国際会議 (ICFD) 主催, 2004~毎年

流体科学における世界最大級の国際学会、「流動ダイナミクスに関する国際会議 (International Conference on Flow Dynamics, ICFD)」を主催。「流体科学」の統合型会議として世界的認知。



- 流体科学 各分野の世界トップレベル研究者による基調講演 (3件/年)
- 例年約20件のOrganized Session開催 (それぞれのOSが国際会議規模)
- International Scientific Committee
- Annual Liaison Office Meeting
- 公募共同研究の成果報告会 (AFI) 併催

研究所の戦略→国際化加速→研究活性化



独自のVISION 2030をupgrade !

New VISION2030 (名称未定)

- 学術の発展
- 社会実装・貢献



流体科学の「見える化」「再定義」

VISUALIZE

これまでの国際活動を総動員：

Flow Dynamics Webinar (計画中) , ICFD, etc.

- 修士発表促進, 学振, 国際宇宙大学, 頭脳循環, サバティカル完全実施,
- 各分野TOP研究者にコンタクト (弟子入り?)